

# 事業計画の概要

## 1. 全体計画の概要

廃棄物の減容化やリサイクルの取組みがすすめられているものの、現時点では技術的あるいは経済面からリサイクルできないものがあり、最終処分場の整備が求められています。

環境省まとめによれば、平成23年度の最終処分量及び平成24年4月1日現在の最終処分場の残存容量から最終処分場の残余年数を推計すると、全国では14.9年、首都圏では5.3年と依然として厳しい状況にあります。

そのような時代の要請に応えるべく、当「グリーンフィル小坂」は、民間施設として国内最大級の処理施設としております。ゆとりのキャパシティ・万全の管理体制・DOWAエコシステムグループによる信頼の運営で廃棄物の適正処理を行うことにより、排出事業者の信頼を得るとともに、安心・安全・コンプライアンスを第一として、地域と共生し、地域の発展ならびに環境保全への貢献と、将来までの安心をお約束いたします。

## 2. 処分業務の具体的な計画

### 1) 組織体制

別紙社内組織図(PDFファイル)のとおり

### 2) 業務時間

8:00～17:00

### 3) 休業日

年間計画で定める土曜日、日曜日、祝日、及び年末年始、夏季休暇期間を休業日とする

## 2. 事業の内容

### 1) 事業の区分

一般廃棄物の最終処分  
産業廃棄物の最終処分  
汚染土壌の埋立処理

### 2) 処理する廃棄物の種類

#### ① 一般廃棄物

燃え殻  
廃プラスチック類  
ゴムくず  
金属くず  
ガラスくず(石綿含有一般廃棄物を含む)  
コンクリートくず(石綿含有一般廃棄物を含む)  
陶磁器くず(石綿含有一般廃棄物を含む)  
がれき類(石綿含有一般廃棄物を含む)  
一般廃棄物を処分するために処理したもの(ばいじん処理物等を含む)  
災害廃棄物

#### ② 産業廃棄物:

燃え殻(水銀含有ばいじん等を含む。)  
汚泥(水銀含有ばいじん等を含む、無機性で含水率85%以下に限る。)  
廃プラスチック類  
ゴムくず  
金属くず  
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む。)  
銻さい(水銀含有ばいじん等を含む。)  
がれき類(石綿含有廃棄物を含む。)  
ばいじん(水銀含有ばいじん等を含む。)  
産業廃棄物を処分するために処理したもの(ばいじん処理物等を含む。)  
13号廃棄物  
(以上のうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

#### ③ 汚染土壌(第二溶出量基準以下)

### 3.最終処分場の概要

1)埋立容積  
270万 $\text{m}^3$

2)埋立面積  
91,400 $\text{m}^2$

3)浸出水処理施設  
最大処理量450 $\text{m}^3$ /日、調整槽容量 8,600 $\text{m}^3$

### 4.施設の概要

#### 1)しゃ水構造

埋立地のしゃ水構造は、「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」(最終改正:平成18年11月10日環境省令第33号(以下、「省令」という))と本計画地の地質調査の結果に基づき、透水係数 $1.0 \times 10^{-6} \text{cm/s}$ 以下の不透水性混合土(厚さ60cm)を基盤とし、その上に合成ゴムシート(厚さ1.5mm)を重ねた二重しゃ水構造を基本としています。この工法については、底盤部及び緩斜法面部(勾配が1:2.0以下で緩やかな斜面)で採用しています。ただし、急斜法面部(勾配が1:2.0より急な斜面)は、不透水性混合土は施工できないため、合成ゴムシート(厚さ1.5mm)を二枚重ねた二重しゃ水構造としています。

#### 2)浸出水の処理

浸出水は浸出水集水管により集水し、浸出水集水槽を経て圧送管で浸出水調整槽に導水します。浸出水調整槽で適切に調整しながら、浸出水処理施設で処理を行います。処理水は小坂製錬所社内排水路に放流します。廃掃法と鉱山保安法との責任分解点は、浸出水処理施設処理水放流口としています。

#### 3)ガス抜き設備

ガス抜き設備は、浸出水集水管に有孔管を接続しています。また、埋立状況に応じて、適宜増設いたします。

#### 4)埋立跡地

埋立跡地は覆土整形し、公害の発生を防止します。埋立地法面部については、緑化をし適切な斜面保護を行います。

以上